

## 会 議 録

会議の名称	飯塚市障がい者施策推進協議会
開催日時	令和3年10月14日 午後3時から午後5時00分まで
開催場所	飯塚市役所本庁5階 研修室1
出席委員	窪田委員、熊井委員、高橋委員、田才委員、中嶋委員、湊上委員、丸野委員、森嶋委員、野口委員、安永委員、渡邊暁委員
欠席委員	石井委員、許斐委員、八田委員、渡邊倭子委員
事務局職員	社会・障がい者福祉課長（手柴）、同・課長補佐（松本） 同障がい者福祉係長（大久保）、同・係員（東） 同障がい者自立支援係長（山野）、同・係員（松浦）
会議内容	<p><b>1. 第3期飯塚市障がい者計画の令和2年度推進状況</b> [事務局説明] ○資料1、資料1-2、資料1-3に基づき説明する。 [委員からの意見、質疑応答] ○資料1の2ページ、事業番号4「総合的な学習の時間」の活用について ・福祉についての教育は大事だと思う。昔、自分たちは福祉に関する教育というのは受けていなかった。ただ、道徳の時間にテレビ番組を見ていた。福祉の教育には、「聞く」のではなく「見る」ことが大事で、そのほうが頭に入ってくるのではないかと思う。その資料としてNHKの「バリバラ」というテレビ番組を利用してはどうかと思う。その中で、刺激が強いものもあつたりするので、教材として使うには先生が考えたほうがいいのかもしいない。「普通」という価値観が今はもう違うので、昔、自分たちが「男らしく、女らしく」とか言っていたこと自体も、「らしく」という言葉が差別用語だつたりする。そういう感覚をみんなが理解できるのか難しいところではあるが、「バリバラ」という番組は「バリアフリーバラエティー」なので子どもも見ていて飽きないというのもあるので、ぜひ採用してもらい、目と耳から、ちゃんと子どもが理解できるようにしてほしい。</p> <p>・資料として、いろいろなあらゆる障がいがあるというのを、小さい頃から目に触れさせることがとても大事だと思う。 ⇒（事務局）この意見は教育委員会とも共有する。</p> <p><b>2. 第5期飯塚市障がい福祉計画・第1期飯塚市障がい児福祉計画の令和2年度推進状況</b> [事務局説明] ○資料2、資料2-2に基づき説明する。</p>

### 3. その他

#### ①飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワークの活動報告

[事務局説明]

○資料3に基づき説明する。

[委員からの意見、質疑応答]

○日中支援型グループホームとはどのようなものか。

⇒(事務局)

同一敷地内にグループホームと日中サービス支援事業所がある形態のグループホームで、障がい者の方の重度化・高齢化に対応するために創設されたもので、飯塚市には椋本にグループホームあさひの里がある。

○トントンというのはどのようなものか。

⇒(会長)

(3)の障がい者基幹相談支援センターの相談支援機能強化事業になっており、特に児童に関する相談支援を行っている。基幹相談支援センターの一部。

#### ②障がい者就労施設等からの優先調達に係る取り組み

[事務局説明]

○資料4に基づき説明する。

#### ③障がい者差別解消に関する相談対応報告

[事務局説明]

○昨年度報告した後1年間障がい者差別解消に関する相談はありませんでした。

#### ④障がい児通所支援利用状況及び利用ニーズ調査について

[事務局説明]

○資料5に基づき説明する。

[委員からの意見、質疑応答]

○児童発達支援の人たちは前提が4歳くらいということがあるみたいですね、障がい者手帳を持っておられる方たちがあまりおらず、8割くらいの方が持ってないですね。放課後等デイサービスの場合は、障がい者手帳を持っている人が55%と増えていますね。

○今後、このアンケートのその他の意見等の活用の仕方をなにか考えていますか。

⇒(事務局)他の担当課とも連携してほしいというご意見もありますので、情報等も含めて共有を行います。

○児童発達支援とか放課後等デイサービスの事業所の規制について、事業所の質について前回言われたように、事業所ごとの質の問題、専門職がないということが意見としてありますね。これに関しては事業所の聴き取り調査をされているということなので、今年度中にまとまるのでしょうか。

- 小・中学校になっていくと、学校との情報交換というのがうまくいっていない、引継ぎがうまくいっていないというような意見もありました。
- 高校卒業したらその後どうしたらいいんだろうという意見は、障がい児・者との制度のつながりのところで、おそらく就労移行支援、就労継続支援のほうになっていくと思うが、制度の周知等が不十分なのかなというように思いました。
- 小さいうちに「障がい児」と言われることに対して抵抗がある方もいるようで、児童発達支援では障がい者手帳を8割の人が持っておられないということ、実際、その年齢において診断していく難しさもあると思うが、そういった意味ではグレーゾーンの人たちへの支援もやってほしいと思う。一方で、放課後等デイサービスでは預かりだけで実際はあまり障がいがないと思われる人の利用がかなり多いようだから、もっと障がいが多い人たちにサービスが行き届くようにしてほしいという意見もありました。
- 学校との関係や事業所の質の問題を心配している意見もあり、行政では社会・障がい者福祉課と子育て支援課、学校教育課との連携をしてほしいという意見があります。
- 児童発達支援のその他の意見で、療育施設との併用通園の理解についてあるのと、保育園に通っていて、療育に週5回通うことにしたら保育園から辞めていただきたいと言われ、4月からは他の保育園に入って今は満足しているという意見がある。先ほど担当課に情報共有すると事務局が言われたが、このアンケートを書かれた人を特定して回答するということはできないですか。  
⇒(事務局) 個人が特定できないアンケートなので直接の回答は難しい。
- かなり不信感とか無責任とか書いてあるので、直接回答できないにしても保育園や幼稚園等が関わる内容で、所管課にこういう意見があって、なぜ療育に週5回通うことにして辞めるところと、受け入れるところがあるのか、その辺の根拠や状況もし分かるなら後日でもいいですが教えてほしい。それだけでなく、他の課題についても所管課と共有できて、こういう問題、こういう状況だという方向性も出していただければと思います。
- 保育園によって全然対応が違ってくる。あまり障がいのある子どもは受けたくないというところもあるようだ。それぞれによって違ってくるのも問題だと思います。また、その対応自体に心が傷つくというご意見もあります。
- 今回、このアンケートでいろいろ意見を出してもらえる型にしてよかったと思います。かなり問題点が出てきたと思います。
- 自分が看護師で、呼吸管理や胃ろうとか普通にしていた病院に勤めていました。ときどきテレビで「医療的ケア児」のことをしていますが、学校において、胃ろうとか呼吸管理とか吸引とかやってみようかなと思う

のですが、やはり一歩が踏み出せない自分がいます。医療的ケア児を扱うトレーニングをするような研修所みたいなものを作らないと、とても医療的ケア児の看護は難しいと思います。責任だけはとても重たいと思って、ただどうにかして救わないといけないなという気持ちはありますけど、正職員でもない、パートやボランティアの看護師では無理なのかなという気もします。

○自立支援ネットワークの「こども部会」を設置していくなかで、医療的ケア児に対する対策を検討していこうという話は出ています。国も医療的ケア児に対する学校でのケアについて看護師の配置については少し検討されているみたいですがどうでしょうか。

⇒（委員）

さだかではないですが、就学委員会というのが学校教育課であり、そのお子さんがどこの学校が一番適しているのか、特別支援学級だったり、情緒クラスだったり、障がいの重たい方においては直方特別支援学校のほうが総合的にいろいろな難聴からなにまで全部含めたクラスでやっておられるので、そっちの方がいいんじゃないか等ということを専門家が委員会で話し合っています。しかし、送迎の問題があったりだとか、学校に行けば看護師がいるけれども、距離が長くて送迎ができなかったり、100点に近い状態にはなかなかならないのが実情です。看護師の数にしても、コロナ渦で看護師の人数が足りないという状況でもあり、その辺が難しかったりしてます。預かる側にしても命を預かるような状態になるので、軽率な軽い返事はできないということもあって、お子さんによって障がいの重さも違って、自分たちで意思表示がある程度できればいいところもあるけれども、そこまでできないというお子さんもいたり、一概にある程度の枠のなかで考えられない、その枠を超えた状態でやっているところもある。それでも学校教育課のほうで取組はされているので、少しずつ前に進んでいけるのではないかと思います、現実には厳しい状況です。

○就労継続支援のA型事業所やB型事業所の許認可は市が行われていますか。

⇒（事務局）認可は県になり、市は意見書を発行している。

○飯塚市圏域の中で、人数とかをカウントした上で、そういうものを設置する必要があるとか、飯塚市で確認されているのでしょうか。

⇒（事務局）飯塚市では飯塚市障がい福祉計画、飯塚市障がい児福祉計画の数値目標を参考として、意見書を交付しています。

○知人が作業療法士や理学療法士の資格を持っており、事業所を立ち上げようとしているが、経営が成り立つのか。コロナで特に作業ができなかったり、仕事がなかったりしていて、危惧している。経営がうまくできなかった、あるいは会社を運営していて精神障がいも含めて障がいのことがうまく理解ができなくて続かないとか、例えば、グループホームか

	<p>ら一般の事業所で働いている利用者があるが、外国人が入ってきて、その方たちの生活も補ってあげないといけない。気が付いたら知的障がい の自分一人で、周りは中国人とかで言葉も通じないしどうしたらいいかと 相談を受けたのですが、社会の関係とかコロナの影響で随分変わっ てきているので、そのあたりも慎重に見定めていただけたらと思います。 ○事業所の許認可については、事業所の申請があったら、市は意見書を交 付して、その意見書と一緒に県に提出して、県が許可するという仕組み になっているので市にはあまり権限がないという状況ですね。 ○需要と供給とといいますか、B型事業所はどんどん増えていてかなりの数 になっていると聞いています。</p> <p><b>⑤障がい児通所支援事業所開設に関する意見書交付について</b> [事務局説明] ○資料6に基づき説明する。 [委員からの意見、質疑応答] ○職員の配置等は、今年度の聴き取りが終わってから集計をされるという ことでよかったですか。 ⇒（事務局）現在コロナ渦で訪問が途切れていますが、今年度中に専門 職の配置がわかる一覧表を作成したいと考えています。</p>						
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 【資料1】 第3期飯塚市障がい者計画令和2年度推進状況等について</li> <li>・ 【資料1-2】 第3期飯塚市障がい者計画の令和2年度推進状況総括</li> <li>・ 【資料1-3】 第3期飯塚市障がい者計画資料における質問及び回答書</li> <li>・ 【資料2】 第5期飯塚市障がい福祉計画・第1期飯塚市障がい児福祉計 画令和2年度推進状況等について</li> <li>・ 【資料2-2】 第5期飯塚市障がい福祉計画・第1期飯塚市障がい児福 祉計画資料における質問及び回答書</li> <li>・ 【資料3】 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク活動報告</li> <li>・ 【資料4】 令和2年度飯塚市障がい者就労施設等からの物品等調達推進 方針</li> <li>・ 【資料5】 障がい児通所支援利用状況及び利用ニーズ調査について</li> <li>・ 【資料6】 障がい児通所支援事業所開設に関する意見書交付について</li> </ul>						
公開・非公開 の別	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">公開</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">一部公開</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">非公開</td> </tr> </table> <p>(傍聴者0人)</p>	1	公開	2	一部公開	3	非公開
1	公開	2	一部公開	3	非公開		
その他							